

内蔵LT0ユニットでのカートリッジテープ°操作につきまして

このたびは、弊社の内蔵 LT0 ユニット(以降、本製品)をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品でカートリッジテープを操作するうえでの注意事項を以下に示しますので、事前にご確認ください
ますよう、お願い致します。

富士通株式会社
2022 年 4 月

はじめに

本製品にカートリッジテープを挿入する際は、後述の カートリッジテープ操作の “正しい挿入方法” を参考にしてください。

- 注意** ※ “ロードエラーが発生しやすい操作” に記載されるような挿入方法を行わないでください。
※ 媒体挿入時に媒体が途中で引っ掛かり止まってしまった場合は、無理に引き出さないでください。
(無理に引き出すと故障の原因となります)

対象製品

名称	型名
内蔵 LT04 ユニット	PY-LT411 / PYBLT411, PG-LT403 / PGBLT403, PGBLT403C
内蔵 LT06 ユニット	PY-LT611 / PYBLT611, PYBLT611A
内蔵 LT07 ユニット	PY-LT711 / PYBLT711
内蔵 LT08 ユニット	PY-LT811 / PYBLT811
内蔵 LT09 ユニット	PY-LT911 / PYBLT911

カートリッジテープ°操作

■ 正しい挿入方法

カートリッジテープを挿入する際は、カートリッジテープ背面の中央部よりも右側を指で押し込むように挿入してください。
カートリッジテープは自動的に引き込まれ、ロード動作を開始しロード完了後に READY 状態(利用可能な状態)になります。



■ ロードエラーが発生しやすい操作

ロードエラーが発生しやすい 下図のケース①, ②, ③のような操作を行わないでください。

ロードエラーが発生した場合、本製品は 1 文字ディスプレイのエラーコード "6" を表示し、ご使用になれません。

ケース①	ケース②	ケース③
		
<p>カートリッジテープを上下あるいは左右を指でつかんだ状態で押し込むと、カートリッジテープを本製品が引き込む動作と指を離すタイミングがずれて、ロードエラーを引き起こす可能性があります。</p>		<p>カートリッジテープの背面の左側を押し込んだ場合、カートリッジテープが斜めになりやすく、ロードエラーを引き起こす可能性があります。</p>

■ ロードエラーが発生した場合の復旧方法

万一、カートリッジテープを斜めに挿入した事によりエラーコード "6"が表示された場合は、以下の方法で復旧可能なケースがありますのでご確認ください。

媒体が挿入途中で止まってしまった場合も、無理に引き出さずに右側を軽く押し込むことで正しくセットされないかを確認してください。

それでも問題が解決しない場合は、修理相談窓口にお問い合わせください。



<手順 1 >

媒体が斜めに挿入された状態の場合、下図の様に媒体の右側を軽く押します。
媒体の右側を押すことで「カッ」と正常な位置にセットされる感触が確認出来ます。
(注：「カッ」となり正常な位置にセットされるまで押してください)

<手順 2 >

この状態で、媒体排出ボタンを押下する事により媒体は排出され、手で媒体を引き抜いた時点で、エラーコード "6"の表示も消えます。



<手順 3 >

媒体が排出されたら『■正しい挿入方法』の画像を参考に、媒体の右側を押し込み正常にセットされる事をご確認ください。



— 以上 —